

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実
5年後の目標		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	介護予防事業		会計	款	項	目	47,499,066	高齢介護課
			介護	3	1	1		
事業の概要								
<p>高齢化の急速な進展により、介護保険・生活支援サービスの需要の増加が見込まれるため、介護保険制度改正に伴う新総合事業への移行を受けたNPO法人などの地域資源を活用した介護予防の取組を更に推進します。また、老人クラブなど地域主体の取組を支援し、身近な地域で介護予防に取り組める環境を整備します。</p>								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	介護予防教室等の参加者数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	3,600	3,700	3,900	4,200	4,500
	205(平成26年度)	実績	4,726				
<p>・平成28年度は新たに1日型体力測定会を実施し、継続的な参加にハードルの高い方への動機づけを行い、継続的な教室への参加を促しました。 また、老人クラブと協働し、介護予防リーダー研修、介護予防全体会等を行い、身近な地域で活動するための動機づけ、基盤づくりを行っています。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—		—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・生活機能の低下のある方対象の二次予防事業とともに、誰でも参加できる一次予防事業に力を入れ、参加される方のニーズに沿い、様々な場所・内容にて介護予防事業の展開を行っています。	
	課題等	・介護予防事業に参加される方が固定化している傾向があるため、参加者の掘り起しや、身近な地域で参加できる教室等の整備が必要ですが、会場や人材等の課題があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<p>対応策等</p> <p>・身近な地域で実施できる教室等の整備のために、サロン活動への協力やボランティア養成等を行います。また、地域に出向き、介護予防への啓発を行います。</p>

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実
5年後の目標		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	高齢者健康・生きがいづくり推進事業	会計	款	項	目	30,157,103	高齢介護課
		一般	3	1	2		
事業の概要							
地域団体やボランティアとの連携により、高齢者の閉じこもり・認知症予防や生きがいづくりを目的としたカフェ・サロン等高齢者の集える場の整備を促進します。また、元気な高齢者自身がボランティアとして事業運営に参画することで、社会参加を促進します。							

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	高齢者の健康・生きがいづくりを目的としたカフェ、サロン数				単位	か所
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	28(平成26年度)	目標	30	31	32	33	34
		実績	30				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会等の協力もあり地域で活動するサロン数は維持できています。認知症予防カフェ等も年々増加しており、さらに身近な地域で開催をしています。 ・老人クラブへの助成や園芸広場を実施し、生きがいづくりや高齢者間の交流を促進しています。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・サロンやカフェの数が増加することにより、身近な地域で参加できる環境が整備されつつあります。	—
	課題等	・カフェやサロンの世話役の高齢化や地域に新たな担い手となる人材が不足しています。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1: 計画通りに進めることが適当	・元気な高齢者が集う場所の増設のために関係機関に働きかけを行います。また、事業を運営する担い手として活動するためボランティア等の養成を行います。

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実
5年後の目標		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	老人福祉施設等整備事業		会計	款	項	目	0	高齢介護課
			一般	3	1	2		
事業の概要								
高齢者の生きがい・健康増進活動の拠点である老人福祉センター竹寿苑が、建築後40年以上経過し設備の老朽化が進んでいることから、介護予防などの機能を付加した新たな高齢者の福祉センターとして、移転も含めた再整備について検討を行います。								

平成28年度の取組								
D (取組)	指標	老人福祉センター再整備の検討					単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	平成28年度新規事業	目標	共生型福祉施設構 想と併せた検討	—	—	—	—	
		実績	会議にて検討					
・共生型福祉施設構想検討会議において、介護予防拠点として新たな高齢者の福祉センターを整備できるよう、市民のニーズや現在の利用状況等を整理し、移転も含めた再整備について検討を行いました。								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・検討会議において、検討を重ねています。平成28年度は、検討会議を2回開催しました。
	課題等	・共生型福祉施設構想の中での整備を検討しているため、関係部局と調整しつつ、検討を進める必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	・今後も共生型福祉施設構想検討会議において、関係部局と調整しつつ、介護予防拠点としての老人福祉センターの検討を行います。